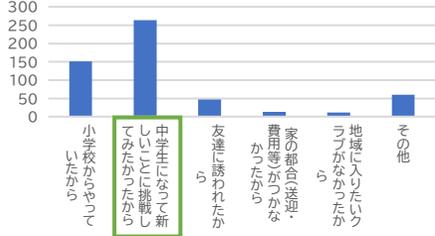


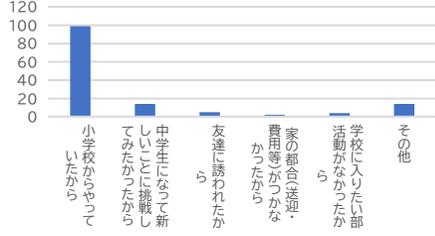


令和4年度実施 部活動アンケートより

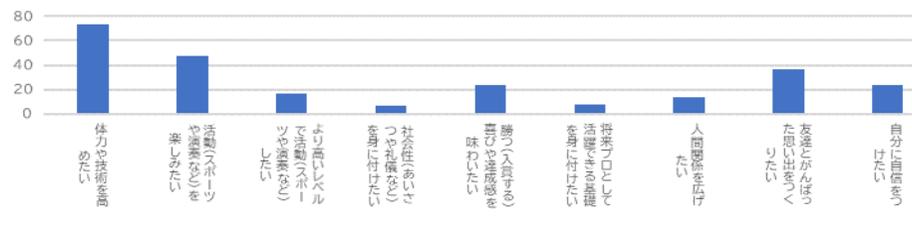
部活動を選んだ理由は何ですか？



【比較】地域のクラブを選んだ理由



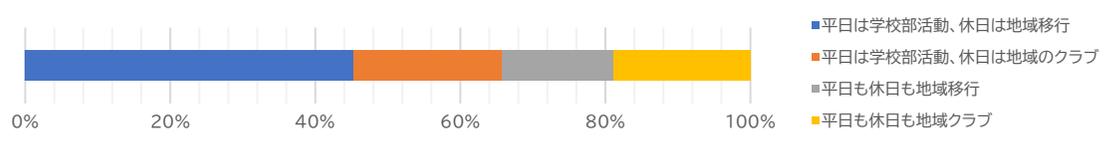
【参考】小学生が学校部活動に期待していること



地域のクラブを選んだ理由と比べると「中学生になって新しいことに挑戦してみたかったから」が多く、中学校の部活動は新しいことに挑戦するきっかけとなっています。また、別のアンケートからは、9割の中学生が部活動を楽しんでいることが分かりました。加えて、中学校から始まる部活動を楽しみにしている小学生も多くいることが分かりました。

今後、学校部活動はどのような形になっていくべきだと考えますか？

※地域移行は「学校の教育活動内」、地域のクラブは「学校の教育活動外」と定義



全体として、7割(青+オレンジ)が「平日の学校部活動」の形態を望み、6割(青+グレー)が「休日の地域移行(学校の教育活動)」の形態を望んでいる。

**学校部活動ならではのよさを実感している人が多い
学校生活とのかかわりの中で地域化を望む声が多い**

牧之原市の学校部活動のこれから① (令和4年度末時点での牧之原市版部活動改革の流れ)

計画的・継続的な指導体制づくり
【部活動改革①】任意加入制の導入、合同部活動体制づくり、外部指導者の確保

部員が少なく、試合ができない。どうしよう。

新人戦と一緒に戦った市内の仲間と中体連大会に出場したいな。

部員数が足りなくても部活動の最後を飾る中体連総体に出場できるように、市内3中学校を1つの部活とする「合同部活動」を令和5年度から試行します。

もっと専門的な技術指導を受けたいな。

学校にない種目に挑戦してみたいよ。

休日は地域の指導者が練習を行っている部活もあります。また、牧之原市には中学生も所属できるクラブがあります。今後、部活動にない種目にも挑戦できる仕組みや専門的な指導ができる体制を充実させていきます。

牧之原市ならではの「地域化」を考える
【部活動改革②】学校部活動地域移行検討委員会の設置

スポーツ庁と文化庁から、令和7年度末までに「休日の学校部活動を段階的に地域移行していく」という提言が出されました。

これからは部活動という、勉強以外にもがんばれる環境があったらいいな。

よくマスメディア等から「部活動の地域移行」の話題を聞くけど、牧之原市では部活動はどうなるの？

アンケートから学校部活動に対する期待や満足度が高いことがわかりました。「地域移行＝学校から部活動がなくなる」ではなく、中学生の活動が充実する「地域移行」を考えることが大切だと考えています。そのため、「学校部活動地域移行検討委員会」を設置し、より望ましい課外活動環境を整備しています。

牧之原市の学校部活動のこれから②（令和5年度学校部活動地域移行検討委員会で検討されたこと）

- 学校間を自転車で移動させている都市部では、安全性・顧問の負担という面で課題が出ている地域もある。
 - 牧之原市の3中学校間の距離は、それぞれ約10kmあるため、少なくとも平日は、所属校での活動が理想
 - 競技人数確保による合同チーム・合同部活動によって、移動が必要になる場合が発生する。
- 地域クラブ化によって、送迎面・経費面の負担が増え、競技人口が減るといった課題が出ている地域もある。また、地域クラブ化したが、指導者の確保が継続せず、地域クラブの存続が困難になったといった課題が出ている地域もある。
 - 牧之原市においても同様の恐れがある。
- 中学校部活動のみが地域移行された場合、その受け皿が持続可能なものになるためには、人口が5万人以上必要というデータがある。
 - 牧之原市は現状、約4万3千人である。
- 自治体からのすべてを補助金による運営は、持続可能なものにならないというデータがある。
 - 受益者負担の場合、3000円/月までなら負担感を感じないというデータもある。
- 経費面で持続可能なものにするためには、小学生(高校生)も取り込める環境を整えるべき。
 - 義務教育学校開校というチャンスを生かし、5・6年生から参加できるようにしたい。
 - 部活動改革に伴う地域移行を2段階(義務教育学校開校前後)に分ける必要がある。



牧之原市の学校部活動のこれから③（牧之原市版部活動改革について）

牧之原市では、一律に部活動を学校から切り離すのではなく、学校部活動地域移行を「指導者の地域化」と定義し
まずは、

休日の部活動指導を「希望する教員」と「地域の指導者」で指導できる体制を整えます

次に、義務教育学校開校に合わせて

小学生も参加できる「放課後の居場所づくり(地域部活動化)」を進めていきます



令和8年度を目標に、以下の改革を進めていきますので、御理解と御協力をお願いします。

- 休日の部活動を各校の実情に合わせ、教員が指導する部活動、地域の指導者(部活動指導員)が指導する部活動(例:榛原中・剣道部、相良中・陸上部)、運営主体を地域に移行する部活動(例:榛原中・女子サッカー一部)に分類、整理、マッチングしていきます。
- 部員数が減っても大会等に出場できるよう、合同部活動の検討を継続的に進めていきます。(例:野球部)
- いろいろな活動や複数の種目にも取り組めるよう、部活動への任意加入制を整え、中学生も参加できる地域の団体を紹介します。
- 平日の部活動についても下校時間や運営方法の見直しもなどの教員の働き方改革も進めながら、運営するよう依頼していきます。